



認定NPO法人

富士山測候所を活用する会

認定NPO法人富士山測候所を活用する会 広報委員会
電話：03-6273-9723 Email：tyo-ofc@npofuji3776.org

<報道発表資料>

2025年9月22日

富士山測候所における2025夏期観測を終了しました

認定NPO法人富士山測候所を活用する会は、富士山頂における2025年夏期観測を終了しました。

9月6日（土）に商用電源を停止し富士山測候所を閉所、7月1日から9月6日までの68日間の観測期間に28プロジェクトが実施されました。夏期観測も今年で19年目となり、来年は節目の20年目を迎えます。

研究成果はウェブサイトにも速報を掲載するほか2026年3月に開催予定の第19回成果報告会で発表いたします。



2025年夏期観測で一番のニュースは、富士山頂で夏期観測を行うため測候所を訪れた研究者（ほか利用者）が延べ7,000人を達成したことです。

今回7,000人目となった東洋大学・反町篤行教授らグループの研究テーマは「富士山頂における越境大気環境問題の予備的な調査」です。

写真：東洋大学・反町篤行教授グループと山頂班



2025年夏期観測中は天候に恵まれ、マイクロプラスチック、越境大気環境問題、CO₂、O₃、SO₂の長期観測などの大気化学・物理関係、雷観測の大気電気関係など多くのプロジェクトが予定通り実施出来ました。一方、夏期観測の中でも一味違ったプロジェクトの自治医科大学・小森孝洋講師、東京都立大塚病院・井出里香医師の高所医学、電気通信大学・柳井啓司教授の富士山頂AIセミナーが悪天候のため実施できませんでした。

また、測候所内の通信設備（wifi等）にStarlinkを利用する試験運用を行いました。これにより測候所内に安定した通信環境の構築が可能となることが実証され、次回夏期観測ではStarlinkの実用化を予定しています。

株式会社 Cho&Companyの協力を得てモバイルネットワークカメラ MORECA を採用した富士山ライブカメラは、高解像度（フルHD）の映像をYouTubeにてライブストリーミングでリアルタイム配信を行い、環境省、山梨県、静岡県が共同で運営する「富士登山オフィシャルサイト」などでも多くの登山者に山頂の状況を伝えることが出来ました。富士山開山中の72日間で山頂から御来光が見えた日数は49日で約70%もありました。

日本で一番高いところに設置されたAEDは、幸い今年の出番はありませんでした。

2025夏期観測のプロジェクトの一部は、ふじのくに未来財団（静岡トヨタ自動車 ハイブリッド基金）、一般財団法人新技術振興渡辺記念会、一般財団法人WNI気象文化創造センター、富士山後世継承事業費補助金（静岡県）の受託で実施されました。

その他情報はウェブサイト、SNS等を御覧ください。



※取材の申し込み、写真の使用については事務局までお問い合わせください。

■本件に関するお問い合わせ先

認定NPO法人 富士山測候所を活用する会事務局

TEL：03-6273-9723

E-mail：tyo-ofc@npofuji3776.org